

同志社大学

# 評論・社会科学

社会学 社会福祉学 メディア学 産業関係学 教育文化学

## 《回顧録》

文学部改組・再編および社会学部設置をふりかえる

黒木保博（1）

## 《論文》

社会システム理論から考えるジャーナリズムの機能

——ジャーナリズムはなぜ「今（現在）」を伝えようとするのか？——

伊藤高史（21）

映画「朝鮮の子」（1955）の製作プロセスをめぐって

板垣竜太（39）

## 《資料》

映画「朝鮮の子」スクリプト

板垣竜太（67）

## 「評論・社会科学」編集規定・執筆要領

### 編集規定

1. (性格・名称) 本誌は、同志社大学社会学会機関誌「評論・社会科学」Social Science Review と称する。
2. (目的) 本誌は、原則として社会学部専任教員の研究成果の発表にあてる。
3. (投稿資格)
  - 1) 社会学部専任教員
  - 2) 社会学部所属の客員教授
  - 3) 大学院社会学研究科博士(後期)課程の学生
  - 4) 社会学部設置科目担当の嘱託講師
  - 5) 編集委員会が適当と認めた者
4. (発行) 本誌は、原則として1年4回発行するものとする。
5. (内容) 本誌に、論文・研究ノート・書評・資料などの各欄を設ける。
6. (編集) 本誌の編集は、社会学会選出の編集委員が担当する。
7. (執筆要領) 本誌への原稿提出は所定の執筆要領による。
8. (査読)
  - 1) 社会学部専任教員および学会内外の有識者より若干名の査読委員を選出する。  
査読委員の任期は1年とする。
  - 2) 査読委員は、編集委員の求めに応じて原稿を査読する。
  - 3) 編集委員は、査読委員の意見をふまえ、編集にあたる。

### 執筆要領

1. 本誌に発表する論文等は、未発表のものに限る。
2. 原稿の提出希望者は、あらかじめ編集委員会からのアンケートによって、各年度当初に年間の本誌該当号への提出希望と原稿の種類を記入する。
3. 原稿の長さは概ね400字原稿用紙100枚以内が望ましい。
4. ワープロ、パソコン使用(以上はフロッピー、原稿ともに提出)、手書き原稿のいずれも可とする。
5. 原稿は英文タイトルを付して提出する。論文・研究ノート・資料については英文要約(約180語)を併せて提出する。
6. 本誌に掲載された論文は、編集委員会の了承を経て他のメディアに掲載されることがある。

1997年4月1日施行

1999年4月1日改正

2001年7月4日改正

2004年6月16日改正

2005年9月14日改正

2009年9月30日改正

2016年6月7日改正

# 同志社大学社会学会会則

2004年6月16日社会学会評議員会決定

改正 2005年4月13日

改正 2005年7月13日

改正 2007年5月30日

改正 2016年5月25日

## 第1条

本会は同志社大学社会学会と称し、事務所を同志社大学社会学部内におく。

## 第2条

本会は社会学、社会福祉学、メディア学、産業関係学、教育文化学およびそれら関連諸学の研究を助成し、会員相互の学術研究の交流を目的とする。

## 第3条

本会は以下の会員をもって組織する。

1. 同志社大学社会学部に所属する教授、准教授、助教、外国人留学生助手
2. 同志社大学社会学部および同志社大学大学院社会学研究科の学生
3. 評議員会が推薦した者

## 第4条

本会は第2条の目的を達成するために以下の事業を行う。

1. 機関紙『評論・社会科学』の刊行
2. 研究会および講演会の開催
3. その他必要な事業

## 第5条

本会に以下の役員をおく。

1. 評議員：社会学部に所属する教授、准教授、助教、外国人留学生助手

2. 会長 1名：評議員の互選による

3. 編集委員 5名：各学科1名、評議員の互選による

なお、委員長を委員の互選で定める

4. 会計委員 1名：評議員の互選による

5. 会計監査 1名：評議員の互選による

6. 学生委員 必要に応じておくことができる

7. 院生委員 必要に応じておくことができる

## 第6条

評議員を除く他の役員の任期は、会長、編集委員の2年以外はすべて1年とする。

ただし、再任をさまたげない。

## 第7条

会員は下記の会費を納めることを要する。

1. 年額 5,000円

## 第8条

本会規則の改正変更は評議員会の決議による。

## 附則

1. この規則は2016年4月1日から施行する。

# 評論・社会科学 第128号

(非売品)

2019年3月15日 印刷

2019年3月20日 発行

編集・発行

同志社大学社会学会

〒602-0047 京都市上京区新町通今出川上ル

TEL 075-251-3441 FAX 075-251-3041

会 長 富 田 安 信 (産業関係学科)

編集委員長 吉 田 亮 (教育文化学科)

編 集 委 員 藤 本 昌 代 (社会学科)

木 原 活 信 (社会福祉学科)

伊 藤 高 史 (メディア学科)

樋 口 純 平 (産業関係学科)

印 刷 協 和 印 刷 株 式 会 社

〒615-0052 京都市右京区西院清水町13

TEL 075-312-4010 FAX 075-312-4011

DOSHISHA UNIVERSITY  
**HYORON SHAKAIKAGAKU**  
SOCIAL SCIENCE REVIEW

---

**CONTENTS**

---

《Memoirs》

Memoirs of the Reorganization and Restructuring  
of the Faculty of Literature, and the Establishment  
of the Faculty of Social Studies

Yasuhiro Kuroki ( 1 )

《Articles》

What Does It Mean to Say that Journalism Reports  
What Is Happening “Now” ? :  
A Study of the Function of Journalism  
from the Viewpoint of Social Systems Theory

Takashi Itoh ( 21 )

On the Making Process  
of the Film “Children of Korea (*Chōsen no ko*)” (1955)

Ryuta Itagaki ( 39 )

《Material》

The Scripts of the Film “Children of Korea (*Chōsen no ko*)” (1955)

Ryuta Itagaki ( 67 )